

2024 年 12 月 18 日  
インタラクティブ・システム・デザインレポート

# インタラクティブ・システム・デザイン 期末レポート（課題 2）

情報経営システム工学分野 B3

学籍番号 : 24336488

氏名 : 本間三暉

## 1 単文による問題記述

1)

出張者も利用可能なオンライン会議管理システム (22 文字)

## 2 各要素の説明

### 2-1) 支援されるアクティビティ（何を）

50 人の専門家のグループがミーティングのスケジュールを管理し、効率的に調整する。(40 文字)

### 2-2) ユーザ（誰を）

出張中も含むグループ内のメンバーおよび管理者が主なユーザである。管理者は特に効率的な運営が求められる。(51 文字)

### 2-3) 支援のレベル（どの程度）

手作業の壁面カレンダーに代わり、リアルタイムでの会議予約や変更通知を自動化し、時間ロスを削減する。(49 文字)

### 2-4) 解の形式（どのように）

オンラインのカレンダーシステムで、場所や会議時間の予約、変更通知をクラウド経由で提供する。(45 文字)

## 3 考察

3)

「グループ・オンライン・カレンダー」は、50 人の専門家が行う内部および顧客とのミーティング管理に必要なシステムである。現在の手作業による壁面カレンダーの使用は、出張中のメンバーにはアクセスできず、管理者が変更を電話連絡するなど非効率的である。このシステムの導入により、グループ全体の予定がオンラインで共有され、出張中でも即時に確認できる。さらに、変更が自動通知されることで管理者の負担が軽減される。

問題定義の重要な側面として、ユーザは出張者や管理者を含む 50 名のグループであり、支援のレベルはリアルタイム更新と通知自動化が中心となる。特に会議の重複や時間超過による再調整の問題に対して、効率的な解決手段となる。解の形式として、クラウドベースのオンラインカレンダーを活用し、メンバーがいつでもどこでもアクセスできることが必須条件である。

このシステム導入により、時間的ロスを最小化し、業務効率の向上が期待される。また、デジタル化による記録管理の信頼性向上と、情報の共有・修正の簡便化も大きな利点である。(455 文字)

## 参考文献

- [1] インタラクティブ・システム・デザイン資料